

2019年8-9月渡航







語学力はもちろん様々なことにおいて成長することができました！

システム理工学部環境システム学科1年
宿谷 実礼さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： インド・IITM

せっかく奨学金制度があるのだから活用しよう、海外に行くことで自分の英語力を試したいと思い、留学を決意しました。また、成長著しい新興国の現状を見てみたい、世界トップクラスの大学の研究設備はどのようなものなのか見てみたいという思いがありインドのプログラムを選びました。

現地のスケジュールは、午前中は研究室見学、午後は2時間英語の授業、そのあとは日によって、現地の大学生とスポーツをしたり、市内を観光したりするといったスケジュールでした。研究室見学では専門用語が数多く出てきて、理解するのはとても大変でしたが、特に自分の専門の研究室では、これからどのようなことを学んでいくかなどということが知れ、とても勉強になりました。英語の授業では、一人ずつ異なるお題が与えられ、その場で即座に発表させられるというものを何度も行いました。そのおかげで、プログラムの後半では前半のときと比べ、英語での質問に対して素早く返答することができるようになりました。実際英語で会話をするにはこの力が必ず必要ですが、普段の授業ではなかなかこの力を養うことはできないため、とてもいい経験になったと思います。またその他休日の日には世界遺産を訪れたりといったことも行いました。

今回の語学研修により語学力はもちろん上がりましたが、それ以上に、もっと英語を話せるようになりたいと強く思い、英語の勉強のモチベーションがとても高まりました。また市内観光を通じてインドの現在の様子を知ることができ、様々なことを考えさせられると同時に世界観も大きく広がりました。二週間の留学で語学力なんて上がらないし、行っても仕方ないと思う人もいるかと思いますが、語学力以外にも様々なことが得られるため、インドを含む新興国への留学はおすすめです。



自信をもって堂々と英語を話せるようになりました。インド、本当におすすめです！

工学部 土木工学科 4年 山仲凌太さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

派遣先：インド／IITM

4年生の5月中旬、就職活動を終え、残り少なくなった学生生活は普通に研究室で過ごそうと思っていましたが、最後の年くらい何か貴重な経験をしてこれからの社会人生活に活かしていきたいと考え、プログラムへの参加を決意しました。数あるプログラムの中でインド・IITMを選んだ理由は自分の今までの海外経験にあります。私はこれまで、ホームステイや旅行などで何カ国か訪問したことがありましたが欧米諸国が中心でした。そこで今回は、中国を追い抜くほど特に急成長しているインドの現状を見たり、日本とは全く異なる文化・慣習を学びたいと考えて、参加を決意しました。

滞在期間中は、基本的に午前中は大学のラボ見学、午後は2～3時間の英語の授業を受け、夕方からは、日によって異なりますが、チェンナイ市内観光や現地の学生とのスポーツを通じた交流等をして過ごしていました。その中でも強く印象に残っているのが英語の授業です。日本で今まで受けてきた英語の授業とは全く異なり、学生全員が能動的に英語を話せるよう、指導していただきました。先生には、流暢に話すことよりも大事なのは自信をもってはっきりと相手に伝えることが一番重要だと教えていただき、8回という少ない授業回数ではありましたが、研修後半には堂々と話すことができるようになり、英語を話すことが楽しく感じられるようになりました。

二週間という短期間のプログラムでしたが、想像していたよりもはるかに大きな学びを得ることができました。それは英語での会話力だけでなく、急成長しているインドでの貧富の格差や、多宗教独特の文化といった、インドでしか得ることのできない体験です。私は半年後には社会人になりますが、仕事においてここでの経験を生かせるよう、語学の勉強や異文化への理解を深めていきたいと思えます。



英語だけでなくインドの文化や経済についても学べたので、非常に有意義な語学研修でした。

システム理工学部 電子情報システム学科1年
緒方 循之介さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：インド工科大学マドラス校

私は2つの目的のためにこのプログラムに参加しました。

まず最初に、英語力を向上させることです。インドは地域ごとに言語や文化が異なる連邦国家であり、かつて英国の植民地だったことも影響して、英語が準公用語として全国的に使われています。そのため、英米への留学ほど高い費用をかけずに英語が学べる環境だと考え、インドでの語学研修を選びました。

次に、インドという国について深く知ることです。インドは近年急速な経済成長を遂げており、将来的には経済規模において日本を追い越すとも言われています。また、インドは長い歴史の中で様々な影響を日本に与えており、かつては天竺と呼ばれて日本でも知られていた大国でした。仏教もインドで誕生した宗教です。これから先の時代、経済や文化の面でインドが日本に再び大きな影響を与えることが予想されるため、私はインドをこの目で見ておきたいと考えました。

実際にインドに滞在すると、想像以上に多くの体験ができました。午前中は主に大学の研究室を見学しましたが、現地の学生が流暢な英語で自分たちの専門分野について語る姿には圧倒され、自分も将来はこういった能力を身に付けたいと思いました。午後は英語の授業を受けましたが、実際に英語を話すと自分の英語に足りない部分などが把握できたので、とても勉強になりました。

約2週間のプログラムでしたが、私の当初の目的は十分に達成され、非常に貴重な体験となりました。今後の自分自身の勉強に関するモチベーションも得られたため、参加してよかったと心から思える語学研修でした。

多くの人とコミュニケーションをとり 自分の言語力を実感

工学部 電気工学科 1年 T・Kさん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 可 ・ 不可

派遣先: インド・IITM

学科の先生方にも海外留学をすすめられ、自分も興味があったので留学をしようと決めました。インド工科大学マドラス校(IITM)は参加費用も安く、多くの経験をする事ができると思い、友達も誘って留学することに決めました。

滞在中は、平日は、午前中に研究室を見学し、午後は英語の授業を2時間行い、その後は、現地の学生と交流などすることが多かったです。研究室の見学については、電気工学や土木工学、生命工学、機械工学など多くの研究室を訪問し、IITMの学生に説明してもらいました。自分の専門以外の研究室を見学することで、その分野にも興味も湧きました。午後の英語の授業は、スピーキングを重視した内容で、最終日には、プレゼンテーションを行いました。伝えることの難しさや、プレゼンテーション中に聞いている人を飽きさせないように工夫することの大変さを学びました。もっと英語が話せればうまくできたのでは、と思うたび、英語力の必要性を実感しました。授業の後の学生との交流では、クリケットなどインド文化に触れることができ、良い経験になりました。

2週間という短期のプログラムでしたが、自分の英語能力がまだ足りないということや相手に思いを伝えることの難しさを実感しました。また、インドの文化に触れるなど物凄く貴重な経験をする事ができたと思います。他にも、一緒に参加した芝浦学生とも友達になることができるなど、このプログラムでなければ味わえないような経験も多くすることができ、参加して本当に良かったと思いました。今後は、英語力を伸ばし、より多くの国に留学してみたいと思います。



日本では体験できない
特別な経験ができました。

システム理工学部 生命化学科1年
土田 開士さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： インド IITM

大学一年の夏にアメリカへ旅行に行ったことがあるのですが、そのときは英語が聞き取れず、英語を話せるようになりたいとずっと思っていました。今回、短期的に英語力を伸ばそうと思い、語学研修プログラムに参加しました。

IITMの語学研修プログラムでは、日本ではできない特別な経験をすることができました。平日の午前中はIITMの研究室見学を行い、午後は2時間英語の授業を受講します。研究室見学で訪問したいろいろな研究室では、様々な分野でとても興味深い研究が行われており、自分もこれから何について研究していくか考えさせられました。また、英語の授業では、インド人の先生によりすべて英語で進められ、物事を英語で考える習慣ができました。先生には日本に帰っても英語を話すように言われたので、今後、英語を話す機会を作っていこうと思います。

また、休日は企業見学に行ったりチェンナイ市内を観光することができました。食事は三食カレーで、道路には牛が座っておりいつも渋滞しているなど、日本とは全く違う景色でとても面白かったです。